

2011 年度 学術交流支援資金報告書  
電子教材作成支援

3-11 ベンチャー経営論  
(討論用事例教材データベース開発プロジェクト)

総合政策学部  
國領 二郎

1. 概要

2004 年度より継続して、電子教材のデータベース構築を進めている。データベースに集積している教材は、専門職養成教育を行う上で有効性が証明されている事例討論を行うための教材で、一事象あたり 20～30 ページ程度のものである。SFC の国際化の動きに伴い英語による授業数が増えていることから、英語教材の必要性が高まっているため、2011 年度には英語による事例討論教材を開発した。教材は 2011 年度以降の「ベンチャー経営論」授業で使用する。

開発した教材は、討論用事例教材データベース開発プロジェクトの一貫として 2004 年度に立ち上げた「電子教材配布プロジェクト」サイトにてデータベースとして集積し、クリエイティブコモンズライセンスによる配布を行っている。サイトアドレスは以下である。

<http://case.sfc.keio.ac.jp/> (日本語教材データベース)

[http://case.sfc.keio.ac.jp/case\\_en/](http://case.sfc.keio.ac.jp/case_en/) (英語教材データベース)

2. 2011 年度の取り組み

開発した教材は「エレファントデザイン株式会社」と「株式会社ウェザーニューズ」の事例に関する討論用英語教材である。これらを授業教材として國領の担当する「ベンチャー経営論」にて使用し、討論の材料とする予定である。「ベンチャー経営論」は GIGA 科目であるとともに e 科目として提供されており、東京大学や、タイのチュラロンコン大学をはじめとする、アジアの提携大学と遠隔にて双方向に結んだ授業でもあるため、教材の配布をデータベースサイトで行えることの利便性は大きい。

“Elephant Design Co. Ltd.” は、既に開発した日本語による事例教材を英訳した。”Weather News Inc.”の開発に関しては、まずは原本となる日本語版を作

成し、その後英語への翻訳を行った。データベースには、日本語版も別途掲載している。

【開発教材 1】

“Elephant Design Co., Ltd. “

On occasion, what we really want is not readily sold. Cuusoo.com (<http://www.cuusoo.com>) comes to your help at that point. It is a website run by elephant design where anybody can post their wishes and individual needs. Designers across the country gather around these “voices” to submit more concrete ideas on how to realize these wishes or needs, which are then discussed in more detail by supporting user communities. Manufacturers and sellers step up, and user ideas gradually turn into real products. The most important thing is to extract the true wishes and perspectives of both the customers and the producer. In order to do this, elephant design has been enthusiastic from its inception to maintain a system where the relationship between the two sides is very close.

【開発教材 2】

“Weathernews Inc.”

Weathernews, is the world's largest weather company. The Feature of Weathernews service is in the method of using information that is sent by registered members all over Japan. The members send photos of sky, GPS locations and comments using their mobile phones to the company. Will the registered members continue to report the weather conditions by their mobile phones continuously? Is it necessary for the company to install many weather radars and sensors in order to collect information in the future? Should the company concentrate their management resources on man based data acquisition network or machine based data acquisition network in order for the company to grow continuously?

### 3. 電子教材のデータベース化およびクリエイティブコモンズライセンスによる電子教材の配布について

教材用事例の電子版データベース作成のメリットは以下である。

#### (1) 経済性

小規模出版となるため通常の紙媒体による配布では印刷コストが大きくなるものを電子化することによって、安価に配布できる。

SFC における授業だけではなく、他大学においても授業教材として「電子教材配信プロジェクトサイト」のデータベース教材を利用していることが、記録から明らかになっている。

#### (2) 機動性

最新の事象を速やかに教室での討論用に供することができる。技術の持つ、社会的、経済的意味などについて討論を行う上では、実社会の動きに密接に関係する教材を継続的かつ機動的に提供する必要があり、データベースによる配布がふさわしい。

先端事例を新たに教材にする場合、取材から教材化、関係者からの公開許諾取得までのプロセス終了後、すぐに配布できる機動性は重要である。

#### (3) 遠隔教育などでの活用可能性

遠隔教育システムを利用し、講師が遠隔地にいながら討論型授業を行うことのメリットは大きい。また、通常の授業に他大学や外部関係者まで参加していただき、多くの視点を与えてもらうことにも大きな意味がある。そのような授業を実施するにあたっての教材配布手段として、教材データベースは極めて有効である。SFC-GCにて配信される「まちづくり論」のような科目や「ファミリービジネス論」のようなe科目では教材の配布方法が問題となるが、「電子教材配信プロジェクトサイト」は、教材の受け渡しに関する利便性の向上に、計り知れない貢献をしている。

このプロジェクトでは、著作権を執筆者と共有とし、CNS ネットワーク上に國領研究室が運営する「電子教材配信プロジェクト」サイトを構築、非営利目的の使用に対しては教材を無償で電子的に公開することとした。ただし営利的な教育機関に対しては有償での教材販売を行いうるような体裁で公開している。

教材は、可能な限り自由な利用、流通を目的とするため、添付されたクリエイ

イティブコモンズライセンスの下に公開されている。このライセンス下で公開されたケース教材は、営利企業内での教育研修や、非営利組織での有料研修など、非営利利用でのルールを守る限り、自由に本作品を複製、頒布、展示、実演することができる。営利的利用の場合は申告していただき、教材購入に関わる費用を負担していただく。2011年度は、165部の外部利用があり、手数料を含めた合計84,500円を請求させていただいた。

利用にあたっては、教材のダウンロードから印刷、利用方法等全て利用団体に任される。利用方法、及び利用部数を自発的に申告してもらうことで、物理的交換に束縛されることなく、自由な流通、利用を促進することが可能となる。2011年の利用はSFC内部者が123名、外部者が410名であった。今後、電子教材の配布のあり方の社会実験としての側面も形にしていきたいと考える。

以上